

今年は 剣道に一本!

第十一回 異種武道大会

二〇一八年十二月五日

全高校生や招待された幼稚園児、小学生など大勢が見守る中、今年も剣道部対戦前の静かな「礼」。対戦中の気迫のこもった声。終わりの「礼」。武道の真剣勝負の見ごたえを感じられる時間でした。

◆剣道部 福原 慎吾選手の感想

三年生最後の大会に、三年生男子全員で試合をすることができ、チームも勝つことができました。昨年の異種武道大会にも出場したものの自分自身が敗退し、悔しい思いもありました。しかし、今回は先鋒戦から良い流れで大将につなぐことができて満足しています。

監督 宮田先生から
今年の異種武道大会は、三年生の男子七名で臨みました。全国大会を経験した学年でもあり、チームワークの良さが目立つ選手たちです。先手を取った末武君は持ち味の「面」でチームの勝ちの流れを作り、その流れのまま勝負を決めることができました。三番手を務めた近藤君は倒れた相手選手に「大丈夫?」と手を差し伸べる温かい場面も見られました。

◆なぎなた部 大岡 瞳選手の感想

円陣を組んで「絶対、大丈夫」とみんなで気持ちをひとつにして挑みました。前の人が取られてしまい、緊張していた私に先輩が「悔いのないよう楽しんで勝負しよう」と言ってくれました。負けてしまったらという気持ちは捨て、強い気持ちで挑み先輩やみんなの応援のおかげで本取することができました。

監督 白川先生から
両部活動ともに、全国大会で活躍するため、日々稽古に励み、心と技を磨いてきました。今大会では、いつも応援してくれるみなさんに感謝を込めて自分たちが培ってきたものを見せたいという試合に臨みました。三年生にとっては、最後の大会。選手との三年間を思い出しながら戦いを楽しむことができました。全国優勝を目標に共に戦えたこと、感謝しています。

インターハイ出場 ~3武道そろって~



◆弓道 谷口 風我選手の感想

私は、県総体で準優勝し、インターハイに出場しました。本番前日の会場練習では普段と違う会場や、四方八方から聞こえる応援にとても緊張し、手が震えました。「引退」と「香川県代表」という言葉の重さは、今でも鮮明に思い出しています。今までの支えてくださった先生方、先輩方のことを思い出して、「いつも通り」とだけ考えて、決勝まで進出することが出来ました。三年間本当に苦しい事もたくさんありましたが、最後まで力を出し切ることが出来たと思っています。

◆なぎなた 今井 美月選手の感想

私はインターハイで優勝することを目標に二年半頑張ってきました。インターハイ個人では、自分の力が発揮できずに負けてしまいました。私は試合で負けたことよりも、自分の力が発揮できずに負けたことがショックで剣道を今すぐ辞めようかと考えていました。その夜落ち込んでいた私にチームメイトが「最後、団体戦で一緒に頑張ろう」と声をかけてくれたおかげで立ち直ることができました。予選は上ることができなかったけれど、最後は強い相手に勝つことができ、一生忘れないインターハイになりました。

◆剣道 長尾 海人選手の感想

私は、インターハイで優勝することを目標に二年半頑張ってきました。インターハイ個人では、自分の力が発揮できずに負けてしまいました。私は試合で負けたことよりも、自分の力が発揮できずに負けたことがショックで剣道を今すぐ辞めようかと考えていました。その夜落ち込んでいた私にチームメイトが「最後、団体戦で一緒に頑張ろう」と声をかけてくれたおかげで立ち直ることができました。予選は上ることができなかったけれど、最後は強い相手に勝つことができ、一生忘れないインターハイになりました。

◆森智奈子選手の感想

インターハイで特に印象に残ったことは、会場の雰囲気です。普段の大会とは全然違う空気や他の選手の気迫に圧倒されそうになりました。一年生の時に出場した全国大会では、悪い方ばかり考えてしまいいつも通りの射ができませんでした。今回のインターハイでは「本本落ち着いて引くことが出来ました。予選敗退という結果でしたが、自分の気持ちの弱さを克服することができ、とても良い経験になりました。」

◆大池 真鈴選手の感想

目標としたインターハイの出場でしたが、結果を残すことができませんでした。来年は後輩たちに頑張ってもらいます。先生等多くの方々に支えていただき感謝しています。全国は県とは違いレベルの高さを感じました。その様な中で、私は稽古で身につけたすべてを出し切ることを考えて戦い抜きました。稽古を通して技術はもうレベルアップの強化もでき、仲間との大切さを知りました。今後の進路に活かしていきたいです。

◆岩本 一真選手の感想

今年の剣道部は「繋」をスローガンにして、チーム一丸となって稽古に取り組んできました。私たちの持ち味の攻めの剣道と、先鋒から良い流れを繋ぐことができました。県総体を優勝し、インターハイへ進むことができました。インターハイでは相手の攻めに対応することができない場面もあり、予選リーグ敗退となりました。悔しい気持ちでいっぱいでしたが、インターハイという大舞台で県高校剣道部として戦うことができ、本当に良い思い出になりました。

なぎなた部、剣道部(男・女) 選抜大会出場

なぎなた部は、第14回全国高等学校なぎなた選抜大会(平成31年3月23日(土)~24日(日)兵庫県伊丹市)の団体戦と個人戦(3名)に出場します。剣道部は、第28回全国高等学校剣道選抜大会(平成31年3月26日(火)~28日(木)愛知県春日井市)の団体戦に男女がアベック出場します。

文化部等公演会 2018年12月6日



手話コーラス



チアリーディング



吹奏楽

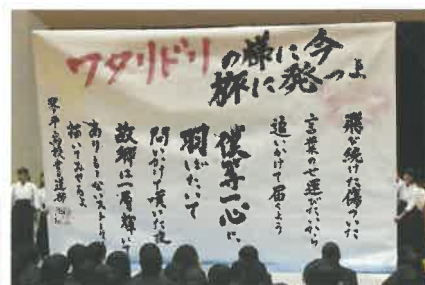


郷土芸能

今年は、三年五組の授業発表として手話コーラス「三百六十五日の紙飛行機」、書道パフォーマンス、郷土芸能同好会演舞、チアリーディング、吹奏楽部演奏が行われました。クラスで練習したことや部活動・同好会の活動で鍛えた成果を発表できました。鑑賞する生徒たちは注目したり、音楽にのって手拍子をしたり、大きな拍手をおくったりしました。日頃は分からない友達の文化的活躍の場を見ることができました。



書道パフォーマンス(途中のところ)



書道パフォーマンス(完成したところ)